

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	大腸憩室出血に対する内視鏡的凝固＋クリップ併用止血 (ECC) の有効性に関する後ろ向き観察研究
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2017 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに当院で大腸憩室出血により内視鏡治療 (ECC) を受けた方 過去の類似研究はありません。 研究責任者：長岡中央総合病院 消化器内科 松井 徹
③ 概要	この研究では、大腸憩室出血に対して ECC と呼ばれる止血法（凝固＋クリップ併用）を施行された患者さんの診療記録をもとに、治療の有効性や再出血の頻度、安全性について調べます。本研究は診療録等の既存情報を用いた後ろ向き観察研究であり、対象となる方に対して新たな診療や検査、試料の採取等はい行いません。
④申請番号	6 8 8
④ 研究の目的・意義	大腸憩室出血に対する ECC の有効性と安全性を評価し、今後の診療に役立てることを目的とします。
⑤ 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日（予定）
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	当院内で集計・解析を行い、学会発表や医学論文の場で公表する予定です。他の機関に個人情報を提供することはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、診断名、内視鏡所見、治療内容、治療経過、再出血の有無、合併症の有無など
⑨利用の範囲	本研究の目的に限り使用します。当院内の研究チームのみがアクセスします。
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 消化器内科 松井 徹 電話：0258-35-3700
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	上記責任者までご連絡ください。研究への情報利用を希望されない場合は、その旨をお知らせいただければ、対象から除外いたします。